

générales ont été menées dans la plupart des pays ces dix dernières années et se sont poursuivies dans certains États membres en 2006. Elles s'appuient sur une approche fondée sur le cycle de vie en consolidant le lien entre cotisations et prestations dans le cadre d'une gestion de la progression de l'espérance de vie, ainsi que sur des stratégies de vieillissement actif en limitant l'accès aux régimes de préretraite et en développant les mesures d'incitation à la prolongation de la vie active. Elles doivent s'accompagner de progrès dans l'accès des travailleurs plus âgés aux marchés du travail. Pour garantir à la fois l'adéquation et la viabilité des systèmes de pension, il est nécessaire qu'un nombre plus élevé de personnes travaillent et prolongent leur vie active. La progression constante des taux d'emploi des travailleurs plus âgés est encourageante, mais ne saurait être un motif de contentement.

Il est clairement admis que viabilité et adéquation vont de pair. L'absence de viabilité des systèmes de pension représente une menace pour les pensions et, inversement, la non-adéquation de celles-ci engendre des demandes imprévues de prestations chez les retraités qui souhaitent échapper à la pauvreté. Les taux de remplacement théoriques, qui montrent la variation de la pension d'un travailleur standard jusqu'en 2050, indiquent des baisses sensibles dans la plupart des pays à un certain âge de départ à la retraite, notamment dans ceux qui ont mis en œuvre des réformes globales (et ont amélioré la viabilité de leur système). Les États membres prévoient de compenser cette baisse par la prolongation de la vie active ou l'augmentation de l'épargne-retraite complémentaire. Dans les pays qui comptent sur l'existence de pensions complémentaires, il demeure essentiel de garantir l'existence de régimes privés et d'étendre leur couverture.

En 2006, les travaux ont été axés sur des questions spécifiques, telles que le risque de pauvreté plus élevé des femmes âgées, les pensions minimales ou le revenu minimum dans le cadre des régimes d'aide sociale. Des régimes très différents existent, certains pays ayant considérablement amélioré la couverture de leur population ces dernières années, tandis que dans d'autres, celle-ci dépend de moins en moins des pensions minimales, en raison de l'arrivée à échéance de pensions liées aux revenus et de l'augmentation des taux d'emploi. Les États membres doivent envisager d'adapter à l'avenir ces prestations, y compris de les indexer, notamment pour veiller à ce qu'elles ne s'écartent pas trop du niveau de rémunération global, tout en maintenant de véritables incitations à épargner et à travailler plus longtemps.

L'accent a aussi été mis sur l'offre d'aménagements souples en fin de vie professionnelle. Il est crucial de disposer d'incitations financières appropriées pour travailler plus longtemps. Les effets de celles-ci peuvent varier dans le temps en fonction de l'âge standard de départ à la retraite et des différents niveaux de revenus. Ces systèmes tendent à être complexes; c'est pourquoi il importe de promouvoir la transparence et une meilleure compréhension de ceux-ci par les individus.

## 第4章 アメリカの自営業者の年金制度

横浜国立大学大学院 関 ふ佐子

### 1. はじめに

アメリカの公的年金制度の基幹をなすのは、“Social Security”と通称される、連邦政府直轄の老齢・遺族・障害保険（OASDI）である<sup>1</sup>。OASDIは、自営業者の老後にとっても主要な収入源となっており、自営業者の年金制度を研究するにあたっては、OASDIをめぐる状況を検証することが肝要となる。これにあたって疑問となるのは、わが国の公的年金制度で課題となっている未納・未加入をめぐる対策である。そこで本年度は、アメリカにおける年金保険料の未納防止策を、文献をもとに研究した。

本稿では、議論の前提として、まず2で「アメリカの年金制度」の概要を紹介する。次に、3で「年金受給を保障する仕組み」を詳細に検討することにより、アメリカ政府が公的年金の保険料の未納対策として、どのようなことを実施しているかを検証していく。具体的には、社会保障番号、年金計画書、およびその他の年金制度の周知徹底方法といった、未納を防ぐために設けられた被保険者のサポート施策を紹介する。そして最後に、虚偽の申請が行われた際の罰則について説明する。本稿では、これらの施策を目に見える形で提示したく、年金制度の周知徹底に役立っているHPのトップページなどを参考資料として添付した。

### 2. アメリカの年金制度

#### (1) 概要

公的年金制度には、OASDIの他に、退役軍人、公務員の一部、鉄道職員など特定の職業に就く者のみを対象とする個別の年金制度がある。

---

<sup>1</sup> 年金制度の詳細については、拙稿「アメリカの年金制度と改革の視点」世界の労働 55 巻 11 号（2005 年）30 頁参照。制度のより詳しい説明や参考文献については、拙稿「諸外国の年金制度の構造 アメリカ」法律時報 76 巻 11 号（2004 年）36～42 頁を参照されたい（本誌は、諸外国の年金制度の構造や、わが国の年金制度改革の視点を検証した特集号である）。こうした年金制度の説明は、全般的に LAWRENCE A. FROLIK & ALISON McCHRISTAL BARNES, ELDER LAW: CASES AND MATERIALS 153 (3<sup>rd</sup> ed. 2003) を参照している。さらに公的年金制度に関する最新情報は、社会保障庁 (SSA/Social Security Administration) のHP<<http://www.ssa.gov>>に基づく。

自営業者も報酬比例年金である OASDI の被保険者となっており、アメリカに住む被用者および自営業者の約 96%が（1 億 6200 万人）OASDI に加入している（2006 年）。さらに、4800 万人（老齢年金・3300 万人、遺族年金・700 万人、障害年金・800 万人）が、OASDI から総額 5210 億ドルにのぼる年金を受給しており、これは GDP の 4.3%にあたる（2005 年）。

労働者の 52%はなんら私的年金に加入しておらず、労働者の 31%は老後に向けた貯蓄をしていないため（2006 年）、OASDI は、自営業者を含めアメリカの高齢者の老後の生活に欠かせない制度となっている。さらに OASDI は、下位 20%の低所得高齢者の収入の 82%を占める。他方、上位 20%の高所得高齢者にとっては、所得の 19%でしかなく（2001 年）、低所得者にとってより重要な生活保障制度となっている。

平均年金月額、単身者に対する老齢年金が 1044 ドル、夫婦世帯に対する老齢年金が 1713 ドル、寡婦と二人の子供に対する遺族年金が 2167 ドル、単身の高齢配偶者に対する遺族年金が 1008 ドル、配偶者と子供のいる障害者に対する障害年金が 1646 ドル、単身障害者に対する障害年金が 979 ドルである（2007 年予測）<sup>2</sup>。

## （2）適用対象者

民間企業の使用者と被用者、年収 400 ドル以上の自営業者、農業労働者、軍人を含む公務員、パート・アルバイトなども強制加入の対象であり<sup>3</sup>、労働者は、ほぼ全て被保険者となっている。

適用除外となるのは、①1983 年以前に雇用された連邦公務員、②独自の年金制度が適用される州・地方公務員、③1983 年以前に雇用された一部の非営利組織の職員、④鉄道退職給付制度が適用される鉄道職員、⑤稼得要件を充たさない自営業者などである。無職の人は適用除外となる。なお、年収 400 ドル以下の自営業者であっても、任意に被保険者となる方法は存在する。

家政婦（メイド）やベビーシッターなどの家内従業員に賃金を支払う場合も、

<sup>2</sup> 社会保障庁の HP にある、“2007 Social Security Changes”〈<http://www.socialsecurity.gov/pressoffice/colafacts.htm>〉参照。

<sup>3</sup> パート・タイム労働は週 35 時間未満の者をさす。

年間 1500 ドル以上支払う場合、雇い主は社会保障税を負担せねばならない。税を賃金から天引きの形で源泉徴収する必要がある。

こうした所得把握が自営業者と同様に容易ではないとされているパート・アルバイトなども公的年金の対象者となっており、全ての労働者が収入に応じて公的年金を同様に受け取れるようシステムが構築されている。

### (3) 財源

OASDI の財源は、社会保障税 (84%)、これを信託基金に預託した積立金の運用収益 (14%)、および年金課税 (2%) からなる (04 年)。OASDI は、保険料に相当する社会保障税を一定期間以上納めることによって受給資格が発生する社会保険である<sup>4</sup>。

社会保障税率は合計で 15.3% である (90 年以来改定なし。医療保険料[メディケア 2.9%]を除くと 12.4%)。一括して徴収し、いったん国庫に納入した後、老齢・遺族保険信託基金に 10.6%、障害保険信託基金に 1.8%、メディケア信託基金に 2.9% と、自動的に振り分け預託される。被用者の税率は、労使が折半して負担する。預託された資金は、給付および運営費を除き、年金信託受託者委員会が管理し、連邦政府保障利付債権などに投資される。

定率の社会保障税は、連邦保険拠出金法と自営業者拠出金法に基づき<sup>5</sup>、課税限度額 (07 年は 9 万 7500 ドル/平均賃金の上昇にあわせて毎年自動的に改定) までの給与や所得に対して課される。課税下限額はなく、例えば、給仕係のチップも課税対象となっている<sup>6</sup>。

### (4) 受給資格と年金額

受給資格は、給付ごとに定まったクレジット (Work credits) [以前は適用四半期 (=3 ヶ月/QC/Quarter of Coverage)] を基準に認定されている。受給資格

<sup>4</sup> 社会保障税 (Social Security Tax) は社会保障目的税であるが、老齢・遺族保険信託基金、障害保険信託基金およびメディケア信託基金に、使用者や被用者などが支払う定率の税収を自動的に振り分け預託する点で、保険料と変わらない。とりわけ、社会保障税を納めない者には年金が支給されない点からも、OASDI は税方式というより社会保険方式に分類しうる。

<sup>5</sup> 連邦保険拠出金法 (FICA/Federal Insurance Contributions Act) 自営業者拠出金法 (SECA/Self-Employed Contributions Act) FROLIK & BARNES, *supra* note 1, at 160-61.

<sup>6</sup> 最低賃金 5 ドル 15 セントも、時給+チップの総額として計算されている。

を取得するには、支払給与税である社会保障税の納付に加えて、給付ごとに定まったクレジットを取得しなければならない。例えば、老齢年金を受給するためには、通算で40クレジット（10年）が必要となる。

1クレジットを取得するには、最低1000ドルの稼働収入が必要となる（07年／平均賃金をベースに毎年自動的に改定）。また、毎年最大で4クレジット積み立てうる。そこで、4000ドルの収入を年内に得れば、4クレジットと換算される。例えば自営業者の収入が年の一部にしかない場合でも、半年だけパートで働いた場合も、年金の受給資格を得られることになる<sup>7</sup>。

老齢年金の完全受給資格者（21歳から62歳までの間に、40クレジットを取得した者）の年金額は、基礎給付額(PIA／Primary Insurance Amount)の100%である。78年以前に受給資格を取得した者については、適用事業における現実の所得額が受給額算定の基礎となる。79年以降は、所得水準の上昇を反映させるため、平均所得水準にスライドする形で月額賃金の平均を計算している。指標化された平均所得月額（AIME／Average Indexed Monthly Earnings）が、すべての社会保障給付のベースとなっている。これに、低所得者に有利な給付算定式を適用して、各人の基礎給付額(PIA)が導き出されている。家族給付、遺族年金および障害年金の額も、被保険者本人の基礎給付額が基準となる。

#### （5）運用

OASDI を執行する主たる権限をもつのは社会保障庁（SSA／Social Security Administration）である。

OASDI の管理・運営を行うため、社会保障庁は10州に地域事務局をおき、その下に地域ごとの社会保障事務所を設置している。そして被保険者の登録、社会保障税納付の記録化、年金給付額の算定、年金の申請手続、相談業務といった対個人サービスなどを行っている。

社会保障税の徴収は財務省の内国歳入庁（IRS／Internal Revenue Service）が担当し、障害認定は州の障害認定機関が行う。労使双方の社会保障税は、源泉徴

---

<sup>7</sup> 1978年以前は、暦年ベースの四半期（3ヶ月）ごとに最低50ドルを稼働しなければ、1クレジットを取得できなかった。そこで、1月にしか働かなかった人には、どんなに所得が多くとも1クレジットしか与えられなかった。

収（労働者）分と会社負担分を、事業主が内国歳入庁に毎月納入する<sup>8</sup>。また、四半期ごとに給与関係税の申告書を提出する。自営業者は、毎年所得税の納付と合わせて内国歳入庁に申告・納付する。

被用者が負担した社会保障税額については、所得税法上収入から控除されず、課税される<sup>9</sup>。事業主がその被用者のために負担した社会保障税額は、被用者の追加的賃金とはみなされず、損金扱いされ非課税となっている。自営業者の負担した社会保障税額については、収入から控除されず課税される。

### 3. 年金受給を保障する仕組み

#### (1) 社会保障番号 (Social Security Number/SSN)

自営業者が収入に見合った年金を確実に受給できるように、そして使用者の申告漏れなどにも対処すべく、年金の受給を保障する仕組みが用意されている。その一つが、社会保障番号である。

OASDI の給付額の算定基礎は、個々人の所得暦である。そして適用事業で働く被用者および自営業者の生涯にわたる所得暦は、社会保障番号のもとで管理されている<sup>10</sup>。例えば自営業者が農業と漁業といった二種類の自営業から収入を得た場合も、パート労働者が三カ所の就労先から給与を得た場合も、自営業による収入と雇用による給与収入の双方を一個人が得た場合も、社会保障番号のもとで収入が統合される。これに基づき、社会保障税やその他の税金が課されている。

社会保障番号のもとで統一的に各人の所得歴を正確に把握することにより、所得に基づいて給付される年金の確実な受給も保障されることになる。政府は、所得を正確に申告することにより、報酬比例年金である OASDI の年金額の上昇につ

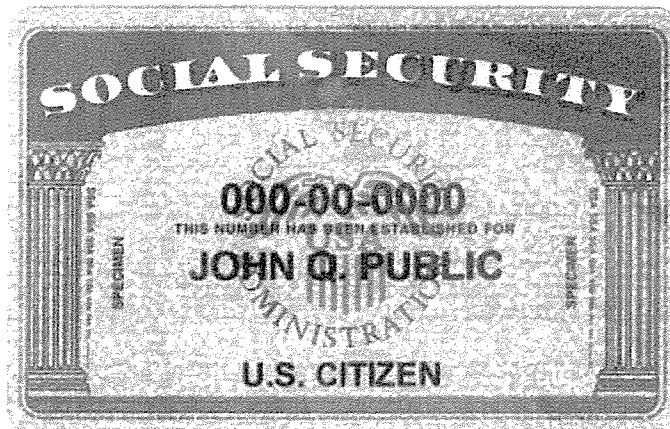
<sup>8</sup> 暦年終了後、各従業員は給与および源泉徴収税の年間合計額を、源泉徴収票フォーム W 2 に記載して、各従業員へ交付する。さらに全てのフォーム W 2 は、社会保障庁へ提出する。

<sup>9</sup> 堀勝洋「公的年金」社会保障研究所編『アメリカの社会保障』（東京大学出版会、1993 年）81 ページ。

<sup>10</sup> 1936 年に導入された社会保障番号は、現在、アメリカで最も頻繁に使用されている記録番号である。1961 年には IRS が、すべての課税目的のために社会保障番号を使用することを決定した。この他社会保障番号は、従業員ファイル、カルテ、健康保険アカウント、クレジットカードおよび銀行口座、大学身分証明書、部屋の賃貸契約など、多くの局面において、個人を特定する番号として使用されている。例えばクレジットカードを作成するにあたっては、社会保障番号のもとに集積されている個人の信用履歴が調べられることになる。

ながる点を強調している。社会保障番号による所得歴の管理は、どのような形で働いても、就労による収入を将来の年金受給に反映させる仕組みを容易にしているわけである。自営業者であっても、被用者と同様、生涯にわたる所得額が年金受給額につながることを理解しやすい仕組みとなっている。そこで社会保障番号は、社会保障税の未納を防ぐ一助となっている。

社会保障番号が記載されている社会保障カードの例<sup>11</sup>



## (2) 年金計画書 (Social Security Statement)<sup>12</sup>

社会保障庁は、25歳以上の勤労者に、誕生日の3ヶ月前に年金計画書(Social Security Statement)を自動的に送付する。55歳以上の者には、より詳しい注意書きを送り、年金受給の方法を考察する手だてとしている<sup>13</sup>。

年金計画書により、被保険者は毎年、自身の収入が将来の年金に反映していることを確認でき、所得を正確に申告し、社会保障税を納入するインセンティブに結びついているとされている。年金計画書の一頁目には、「本計画書を入念にお読みください。記載に誤りがあると思われる場合は、お知らせください。あなたの年金給付額は、我々が記録している生涯収入に基づくため、通知は重要な情報となります。」と記載されている。

<sup>11</sup> サンプル画像は、<[http://en.wikipedia.org/wiki/Social\\_Security\\_number](http://en.wikipedia.org/wiki/Social_Security_number)>より。

<sup>12</sup> 添付資料”1\_Social Security Statement (Your Social Security Statement)”参照。<<http://www.ssa.gov/mystatement/statsamples.htm>>より。個々人の年金計画書は、オンラインでも見ることができる。

<sup>13</sup> 55歳以上の者に対する追加の年金計画書のサンプルについては、添付資料”2\_Social Security Statement insert”参照。<<http://www.ssa.gov/mystatement/07soc-sec-insert.pdf>>より。

また年金計画書は、所得が正確に申告されていない場合に、それを訂正する機会も提供している。被保険者は、正確な所得暦を確認する権利があり、一定期間内に書面により修正を要請しうるのである。例えば使用者が給与を正確に申告しておらず、それに見合った社会保障税（使用者負担分と被用者負担分）を支払っていない場合、被用者は将来の年金受給額が減らないよう、修正を申告することができる。

年金計画書の一ページ目には年金制度の意義、二ページ目には予想受給額、三ページ目には所得記録、四ページ目には、年金制度の説明などが記載されている。55歳以上の者にはさらに二枚追加の説明が送付され、そこには、年金受給にあたって考慮すべきオプションが記載されている。

具体的には、一ページ目は年金制度の現状を周知する役割を担っている。例えば、現状のままでは2040年にはOASDI信託基金が枯渇するということが記載されており、制度改革への理解を求めている。完全年金を受給しうる支給開始年齢（完全退職年齢）は従来65歳であったが、2000年以降徐々に引き上げられ、22年には67歳になることが予定されているところ、こうした改革の必要性も理解しやすい形となっている。また、公的年金制度は、老後の生活を支える唯一の収入として十分な額を保障するよう設計されていないことが説明されている。そして、貯蓄、投資、私的年金などを各自が利用することにより、老後の快適な生活のために自ら備えるべきことなども唱えられている。

二ページ目には、個人の所得に応じた年金の予想受給額が記載されている。老齢年金、障害年金、遺族年金それぞれについて書かれている。例えば、満額の年金を受給しうる支給開始年齢である67歳に老齢年金を受給した際の受給額、および70歳から受給した場合の受給額が記載されており、繰り下げ受給の場合にはより多額の年金を受給できるということが、具体的に目に見える形で提示されている。

三ページ目には、課税対象となった毎年の所得記録と支払った社会保障税の額が記載されている。このページが、年金計画書の中心部分であり、被保険者は自らの所得が正確に申告され、社会保障庁において記録されているか否かを、自身の給与明細などをもとに確認することになる。

四ページ目には、老齢年金、障害年金、遺族年金、家族給付、年金受給額への



就労の影響、繰り上げ・繰り下げ受給の仕組みなど、年金制度の概要が説明されている。さらに、より詳細な情報を知りたい場合に参照すべきHPやブックレットが紹介されている。

55歳以上の者に対する追加の年金計画書の一ページ目には、年金を受給するにあたって考慮すべき事項が記載されている。いつから受給を開始したいのか、仕事をやめて給付を得たいのか、仕事を続けながら給付を受けたいのかといった事項を問い、それぞれの場合に年金の受給額がどのように変動するのかを説明している。また、完全退職年齢が誕生日により異なるため、それを明示し、完全退職年齢によって異なる繰り上げ・繰り下げ受給額などが説明されている。年金制度そのものは、個々人の誕生日によって年金を受給しうる年が異なるという複雑な制度となっているが、受給者がこれにより混乱しないよう丁寧な説明が試みられている。

追加の年金計画書の二ページ目には、働き続けること、および繰り下げ受給により、長生きした場合、いかに生涯にわたる年金受給額が上昇するかが説明されている。完全退職年齢以前に年金を受給した場合、就労により年金受給額が減少するが、完全退職年齢以降は、わが国の在職老齢年金制度とは異なり、年金受給額は減少しない。反対に、就労し続けることにより所得が増えた場合は年金受給額が上昇することを明示し、65(67)歳をすぎても働き続けることが推進されている。社会保障税の支払いにつながる就労の継続と繰り下げ受給の増加は、年金財政にも寄与するわけだが、個々の年金計画書において、それを推進していることになる。被用者よりも長い間就労し続けることの多い自営業者にとって、年金計画書は、いつから年金の受給を開始すべきか、自らの人生設計（財産計画）を考える格好の素材となっている。

こうした年金計画書を毎年送付することにより、年金制度への信頼を高め、自営業者の保険料の支払いにも結びつけようとしている。

### (3) 年金制度の周知徹底方法

政府は、HPやパンフレット・ブックレットを駆使して、年金制度への理解を高めるとともに、保険料を納付し易いような工夫を構築している。

情報提供の第一として挙げうるのが、社会保障庁のHP” Social Security

Online”である。年金受給者の立場にたって、自身の年金に関する情報が取得しやすいよう HP は作られている。まずトップページでは、「あなたの年金計画書」、「老後を計画しよう」、「年金の申請」といった文字がまず目に入り、各自の所得歴を確認できる年金計画書、老齢年金などを受給した場合の年金額の計算、年金の申請方法などを記載したページに飛びやすい形になっている<sup>14</sup>。

自営業者についても独自のページがあり、収入の申告方法、社会保障税額などを見られるページにいけるようになっており、自営業者特有の問題にも答えている<sup>15</sup>。自営業者が自身の年金について疑問をもった場合は、このページから各種の情報を得ることができるわけである。

第二に、1～3ページの短さで自営業者をめぐる年金制度を説明した Fact Sheet (パンフレット) など、各種の事項について簡単にまとめた文章が多数作成されており、HP からダウンロードすることもできる<sup>16</sup>。Fact Sheet には、自営業者が年金受給資格を取得するために必要な社会保障税の支払、クレジットの取得、年金額に結びつく収入、収入の申告方法などがまとめられている。自営業者は、これを見ることにより、年金を受給するために自身が何をすべきかを把握することができるようになっている。

そして、さらに詳細な情報を取得したい者は、課題ごとにまとめられたブックレットを読むことができる。例えば、農家を対象としたガイドブックでは、年金制度の概要、農家で働く労働者の収入の申告方法、被用者の責任、自身の収入の申告方法、申告すべき収入の内容などが詳細に記載されている<sup>17</sup>。さらに、年金制度について包括的に説明した分厚い書籍 “Social Security Handbook”には、全制度の内容が詳しく説明されている<sup>18</sup>。これも、オンラインでも見たりダウンロ

---

<sup>14</sup> 社会保障庁の HP のトップページについては、添付資料 “3\_Social Security Online top” 参照。

<sup>15</sup> 自営業者に関する情報を記載している HP のトップページについては、添付資料 “4\_Selfemployed top page” 参照。<<http://www.ssa.gov/selfemployed.htm>>より。

<sup>16</sup> 自営業者に関する Fact Sheet は、添付資料 “5\_If You Are Self-Employed” 参照。<<http://www.socialsecurity.gov/pubs/10022.pdf>>より。

<sup>17</sup> 農家を対象としたガイドブックは 32 ページに及ぶため (記載の半分はスペイン語での記載)、そのトップページのみ資料として添付した。添付資料 “6 Guide for Farmers top” 参照。ブックレットそのものは、<<http://www.socialsecurity.gov/pubs/10025.pdf>>を参照されたい。

<sup>18</sup> “Social Security Handbook” のトップページは、添付資料 “8\_Social Security Handbook top” 参照。目次については、添付資料 “9\_Social Security Handbook Contents” または<

ードすることができる。

第三に、フリーダイヤルでの電話での問い合わせもしやすい形となっており、年金制度について疑問をもった者が、どこに問い合わせればいいのかを迷うことなく、または部署が違ふとたらい回しにされることなく、問い合わせが可能となっている。月曜日から金曜日の朝7時から夜7時までの担当者による応答に加えて、自動音声による24時間の応答も完備されており、民間企業のお客様お問い合わせ窓口と同様の丁寧なサービスが提供されている。

また、スペイン語のみしか話さない人口の増加に伴い、多くの書類がスペイン語でも提供されている他、耳の不自由な人への問い合わせ窓口なども完備されている。年金制度の概要にいたっては、アラビア語、アルメニア語、中国語、ペルシア語、フランス語、ベトナム語、タガログ語、ロシア語、ポルトガル語、ポーランド語、韓国語、イタリア語、ハイチ語、ギリシャ語でも情報が提供されており、これらの情報はHPでも見ることができる。

社会保障庁は、このように多様な方法で年金制度の周知を徹底し、自身の将来の年金受給を目に見える形で分かりやすく提示しており、年金制度への理解を高めようとしている。こうして年金制度に対する信頼を高めることにより、社会保障税の未納を防止するよう試みている。

#### (4) 虚偽の申請に対する対策

年金保険料の未納や過少申告を防止すべく、保健福祉省の監察総監室が中心となって、虚偽の申告をした者などを厳格に取り締まっている<sup>19</sup>。そして「虚偽行為のホットラインへの告発」について記載したHPなどを通して<sup>20</sup>、虚偽行為の

---

[http://www.ssa.gov/OP\\_Home/handbook/handbook-toc.html](http://www.ssa.gov/OP_Home/handbook/handbook-toc.html)>参照。自営業者のページの目次については、添付資料”10\_SS Handbook Self-Employed” または<

[http://www.ssa.gov/OP\\_Home/handbook/handbook.11/handbook-toc11.html](http://www.ssa.gov/OP_Home/handbook/handbook.11/handbook-toc11.html)>参照。

ハンドブック全体については、

< [http://www.ssa.gov/OP\\_Home/handbook/handbook.html](http://www.ssa.gov/OP_Home/handbook/handbook.html) >参照。

<sup>19</sup> 取り締まりの詳細については、監察総監室 (Office of the Inspector General/OIG) のHPを参照されたい< <http://www.ssa.gov/oig/index.htm> >。トップページは、添付資料”7\_Office of the Inspector General top”を参照されたい。

<sup>20</sup> HP, “Report Fraud to the Hotline”参照 < <http://www.ssa.gov/oig/hotline/index.htm> >。トップページも若干長いため、その一部を資料として添付した”11\_Report Fraud to the Hotline”を参照されたい。

申告も促進しており、例えば使用者が自身の社会保障税を納付していない場合に、被用者が匿名でそれを告発できるようになっている。

所得歴の虚偽申請は罰則の対象となっており、自営業者が自らの収入について虚偽の申告書を提出した場合は、詐欺の罪で刑事罰が科されることもある<sup>21</sup>。社会保障法や関連条項の侵害に際しては、500 ドル以下の科料か一年の禁固刑といった比較的軽微なものから、1 万ドル以下の科料か 15 年以下の禁固刑といった重い罰則まで存在する。科料と禁固刑の双方を科される場合もある<sup>22</sup>。こうした厳格な刑事罰や、その実施は、未納や過少申告の予防にもつながっている。

このようにアメリカでは、まず社会保障番号や年金計画書によって、労働による収入に応じた年金額を受給できるよう、被保険者の年金受給を保障している。さらに年金計画書も含めた様々な方法を駆使して、年金制度の内容を分かりやすく説明することにより、制度への理解の促進と安心感の構築が目指されている。他方、それでも年金の保険料を支払わなかった者に対しては、厳格な罰則をも定めている。こうしたアメリカにおける制度の具体的に仕組みは、わが国の年金制度を改革するにあたって示唆に富むものと思われる。

---

<sup>21</sup> 詳細は、"Social Security Handbook・前掲書（註 18）"143. Fraud In Connection With Benefit Claims And Earnings Records"の 143.1D <

[http://www.ssa.gov/OP\\_Home/handbook/handbook.01/handbook-0143.html](http://www.ssa.gov/OP_Home/handbook/handbook.01/handbook-0143.html) >参照。

<sup>22</sup> 詳細は、"Social Security Handbook・前掲書（註 18）"What is the penalty for conviction?" <[http://www.ssa.gov/OP\\_Home/handbook/handbook.01/handbook-0143.html](http://www.ssa.gov/OP_Home/handbook/handbook.01/handbook-0143.html)>参照。

Prevent identity theft—protect your Social Security number



# Your Social Security Statement

Prepared especially for Wanda Worker

January 24, 2007

[www.socialsecurity.gov](http://www.socialsecurity.gov)

See inside for your personal information



WANDA WORKER  
456 ANYWHERE AVENUE  
MAINTOWN, USA 11111-1111

## What's inside...

<b>Your Estimated Benefits</b> .....	2
<b>Your Earnings Record</b> .....	3
<b>Some Facts About Social Security</b> .....	4
<b>If You Need More Information</b> .....	4
<b>To Request This Statement In Spanish</b> .....	4
<i>(Para Solicitar Una Declaración en Español)</i>	

## What Social Security Means To You

This *Social Security Statement* will help you understand what Social Security means to you and your family. This *Statement* can help you better plan for your financial future. It gives you estimates of your Social Security benefits under current law. Each year, we will send you an updated *Statement* including your latest reported earnings.

Be sure to read this *Statement* carefully. If you think there may be a mistake, please let us know. That's important because your benefits will be based on our record of your lifetime earnings. We recommend you keep a copy of this *Statement* with your financial records.

### Social Security is for people of all ages...

It can help you whether you're young or old, male or female, single or with a family. It's there for you when you retire, but it's more than a retirement program. Social Security also can provide benefits if you become disabled and help support your family when you die.

### Work to build a secure future...

Social Security is the largest source of income for most elderly Americans today. It is very important to remember that Social Security was never intended to be your only source of income when you retire. Social Security can't do it all. You also will need other savings, investments, pensions or retirement accounts to make sure you have enough money to live comfortably when you retire.

### About Social Security's future...

Social Security is a compact between generations. For more than 70 years, America has kept the promise of security for its workers and their families. But now, the Social Security system is facing serious future financial problems, and action is needed soon to make sure that the system is sound when today's younger workers are ready for retirement.

Today there are more than 37 million Americans age 65 or older. Their Social Security retirement benefits are funded by today's workers and their employers who jointly pay Social Security taxes — just as the money they paid into Social Security was used to pay benefits to those who retired before them. Unless action is taken soon to strengthen Social Security, in just 10 years we will begin paying more in benefits than we collect in taxes. Without changes, by 2040 the Social Security Trust Fund will be exhausted.\* By then, the number of Americans 65 or older is expected to have doubled. There won't be enough younger people working to pay all of the benefits owed to those who are retiring. At that point, there will be enough money to pay only about 74 cents for each dollar of scheduled benefits. We will need to resolve these issues soon to make sure Social Security continues to provide a foundation of protection for future generations as it has done in the past.

### Social Security on the Net...

Visit [www.socialsecurity.gov](http://www.socialsecurity.gov) on the Internet to learn more about Social Security. You can read our publications, use the *Social Security Benefit Calculators* to calculate future benefits, apply for retirement, spouse's or disability benefits, or subscribe to *eNews* for up-to-date information about Social Security.

Linda S. McMahon  
Acting Commissioner of Social Security

\* These estimates of the future financial status of the Social Security program were produced by the actuaries at the Social Security Administration based on the intermediate assumptions from the Social Security Trustees' Annual Report to the Congress.

## Your Estimated Benefits

<b>*Retirement</b>	You have earned enough credits to qualify for benefits. At your current earnings rate, if you stop working and start receiving benefits...	
	At age 62, your payment would be about.....	\$ 975 a month
	If you continue working until...	
	your full retirement age (67 years), your payment would be about.....	\$ 1,412 a month
	age 70, your payment would be about.....	\$ 1,761 a month
<b>*Disability</b>	You have earned enough credits to qualify for benefits. If you became disabled right now, your payment would be about.....	\$ 1,293 a month
<b>*Family</b>	If you get retirement or disability benefits, your spouse and children also may qualify for benefits.	
<b>*Survivors</b>	You have earned enough credits for your family to receive survivors benefits. If you die this year, certain members of your family <b>may</b> qualify for the following benefits:	
	Your child.....	\$ 1,008 a month
	Your spouse who is caring for your child.....	\$ 1,008 a month
	Your spouse, if benefits start at full retirement age.....	\$ 1,344 a month
	Total family benefits cannot be more than.....	\$ 2,473 a month
	Your spouse or minor child may be eligible for a special one-time death benefit of \$255.	
<b>Medicare</b>	You have enough credits to qualify for Medicare at age 65. Even if you do not retire at age 65, be sure to contact Social Security three months before your 65th birthday to enroll in Medicare.	

\* Your estimated benefits are based on current law. Congress has made changes to the law in the past and can do so at any time. The law governing benefit amounts may change because, by 2040, the payroll taxes collected will be enough to pay only about 74 percent of scheduled benefits.

### We based your benefit estimates on these facts:

Your date of birth.....	April 5, 1966
Your estimated taxable earnings per year after 2006.....	\$38,626
Your Social Security number (only the last four digits are shown to help prevent identity theft).....	XXX-XX-1234

## How Your Benefits Are Estimated

To qualify for benefits, you earn “credits” through your work — up to four each year. This year, for example, you earn one credit for each \$1,000 of wages or self-employment income. When you’ve earned \$4,000, you’ve earned your four credits for the year. Most people need 40 credits, earned over their working lifetime, to receive retirement benefits. For disability and survivors benefits, young people need fewer credits to be eligible.

We checked your records to see whether you have earned enough credits to qualify for benefits. If you haven’t earned enough yet to qualify for any type of benefit, we can’t give you a benefit estimate now. If you continue to work, we’ll give you an estimate when you do qualify.

**What we assumed** — If you have enough work credits, we estimated your benefit amounts using your average earnings over your working lifetime. For 2007 and later (up to retirement age), we assumed you’ll continue to work and make about the same as you did in 2005 or 2006. We also included credits we assumed you earned last year and this year.

Generally, estimates for older workers are more accurate than those for younger workers because they’re based on a longer earnings history with fewer uncertainties such as earnings fluctuations and future law changes.

These estimates are in today’s dollars. After you start receiving benefits, they will be adjusted for cost-of-living increases.

We can’t provide your actual benefit amount until you apply for benefits. **And that amount may differ from the estimates stated above because:**

- (1) Your earnings may increase or decrease in the future.
  - (2) Your estimated benefits are based on current law.
- The law governing benefit amounts may change.**

- (3) Your benefit amount may be affected by **military service, railroad employment or pensions earned through work on which you did not pay Social Security tax.** Following are two specific instances. You can also visit [www.socialsecurity.gov/mystatement](http://www.socialsecurity.gov/mystatement) to see whether your Social Security benefit amount will be affected.

**Windfall Elimination Provision (WEP)** — In the future, if you receive a pension from employment in which you do not pay Social Security taxes, such as some federal, state or local government work, some nonprofit organizations or foreign employment, and you also qualify for your own Social Security retirement or disability benefit, your Social Security benefit may be reduced, but not eliminated, by WEP. The amount of the reduction, if any, depends on your earnings and number of years in jobs in which you paid Social Security taxes, and the year you are age 62 or become disabled. For more information, please see *Windfall Elimination Provision* (Publication No. 05-10045) at [www.socialsecurity.gov/WEP](http://www.socialsecurity.gov/WEP).

**Government Pension Offset (GPO)** — If you receive a pension based on federal, state or local government work in which you did not pay Social Security taxes and you qualify, now or in the future, for Social Security benefits as a current or former spouse, widow or widower, you are likely to be affected by GPO. If GPO applies, your Social Security benefit will be reduced by an amount equal to two-thirds of your government pension, and could be reduced to zero. Even if your benefit is reduced to zero, you will be eligible for Medicare at age 65 on your spouse’s record. To learn more, please see *Government Pension Offset* (Publication No. 05-10007) at [www.socialsecurity.gov/GPO](http://www.socialsecurity.gov/GPO).

## Your Earnings Record

Years You Worked	Your Taxed Social Security Earnings	Your Taxed Medicare Earnings
1982	550	550
1983	1,299	1,299
1984	2,254	2,254
1985	3,704	3,704
1986	4,962	4,962
1987	6,282	6,282
1988	7,827	7,827
1989	10,041	10,041
1990	12,297	12,297
1991	14,278	14,278
1992	16,399	16,399
1993	17,772	17,772
1994	19,346	19,346
1995	21,057	21,057
1996	22,946	22,946
1997	25,031	25,031
1998	26,991	26,991
1999	29,072	29,072
2000	31,251	31,251
2001	32,542	32,542
2002	33,380	33,380
2003	34,720	34,720
2004	36,756	36,756
2005	38,626	38,626
2006	Not yet recorded	Not yet recorded

**Did you know... Social Security is more than just a retirement program? It's here to help you when you need it most.**

You and your family may be eligible for valuable benefits:

*When you die, your family may be eligible to receive survivors benefits.*

*Social Security may help you if you become disabled—even at a young age.*

*It is possible for a young person who has worked and paid Social Security taxes in as few as two years to become eligible for disability benefits.*

Social Security credits you earn move with you from job to job throughout your career.

### Total Social Security and Medicare taxes paid over your working career through the last year reported on the chart above:

Estimated taxes paid for Social Security:		Estimated taxes paid for Medicare:	
You paid:	\$27,730	You paid:	\$6,506
Your employers paid:	\$27,730	Your employers paid:	\$6,506

**Note: You currently pay 6.2 percent of your salary, up to \$97,500, in Social Security taxes and 1.45 percent in Medicare taxes on your entire salary. Your employer also pays 6.2 percent in Social Security taxes and 1.45 percent in Medicare taxes for you. If you are self-employed, you pay the combined employee and employer amount of 12.4 percent in Social Security taxes and 2.9 percent in Medicare taxes on your net earnings.**

## Help Us Keep Your Earnings Record Accurate

You, your employer and Social Security share responsibility for the accuracy of your earnings record. Since you began working, we recorded your reported earnings under your name and Social Security number. We have updated your record each time your employer (or you, if you're self-employed) reported your earnings.

Remember, it's your earnings, not the amount of taxes you paid or the number of credits you've earned, that determine your benefit amount. When we figure that amount, we base it on your average earnings over your lifetime. If our records are wrong, you may not receive all the benefits to which you're entitled.

**Review this chart carefully** using your own records to make sure our information is correct and that we've recorded each year you worked. You're the only person who can look at the earnings chart and know whether it is complete and correct.

Some or all of your earnings from **last year** may not be shown on your *Statement*. It could be that we still

were processing last year's earnings reports when your *Statement* was prepared. Your complete earnings for last year will be shown on next year's *Statement*. **Note:** If you worked for more than one employer during any year, or if you had both earnings and self-employment income, we combined your earnings for the year.

**There's a limit on the amount of earnings on which you pay Social Security taxes each year.** The limit increases yearly. Earnings above the limit will not appear on your earnings chart as Social Security earnings. (For Medicare taxes, the maximum earnings amount began rising in 1991. Since 1994, **all** of your earnings are taxed for Medicare.)

**Call us right away at 1-800-772-1213** (7 a.m.–7 p.m. your local time) if any earnings for years **before last year** are shown incorrectly. If possible, have your W-2 or tax return for those years available. (If you live outside the U.S., follow the directions at the bottom of page 4.)

## Some Facts About Social Security

### About Social Security and Medicare...

Social Security pays retirement, disability, family and survivors benefits. Medicare, a separate program run by the Centers for Medicare & Medicaid Services, helps pay for inpatient hospital care, nursing care, doctors' fees, and other medical services and supplies to people age 65 and older, or to people who have been receiving Social Security disability benefits for two years or more. Your Social Security covered earnings qualify you for both programs. For more information about Medicare, visit [www.medicare.gov](http://www.medicare.gov) or call 1-800-633-4227 (TTY 1-877-486-2048 if you are deaf or hard of hearing).

### Here are some facts about Social Security's benefits:

**Retirement** — If you were born before 1938, your full retirement age is 65. Because of a 1983 change in the law, the full retirement age will increase gradually to 67 for people born in 1960 and later.

Some people retire before their full retirement age. You can retire as early as age 62 and take your benefits at a reduced rate. If you continue working after your full retirement age, you can receive higher benefits because of additional earnings and special credits for delayed retirement.

**Disability** — If you become disabled before full retirement age, you can receive disability benefits after six months if you have:

- enough credits from earnings (depending on your age, you must have earned six to 20 of your credits in the three to 10 years before you became disabled); and
- a physical or mental impairment that's expected to prevent you from doing "substantial" work for a year or more or result in death.

**Family** — If you're eligible for disability or retirement benefits, your current or divorced spouse, minor children or adult children disabled before age 22 also may receive benefits. Each may qualify for up to about 50 percent of your benefit amount. The total amount depends on how many family members qualify.

**Survivors** — When you die, certain members of your family may be eligible for benefits:

- your spouse age 60 or older (50 or older if disabled, or any age if caring for your children younger than age 16); and
- your children if unmarried and younger than age 18, still in school and younger than 19 years old, or adult children disabled before age 22.

If you are divorced, your ex-spouse could be eligible for a widow's or widower's benefit on your record when you die.

### Receive benefits and still work...

You can continue to work and still get retirement or survivors benefits. If you're younger than your full retirement age, there are limits on how much you can earn without affecting your benefit amount. The limits change each year. When you apply for benefits, we'll tell you what the limits are at that time and whether work would affect your monthly benefits. When you reach full retirement age, the earnings limits no longer apply.

### Before you decide to retire...

Think about your benefits for the long term. Everyone's situation is different. For example, be sure to consider the advantages and disadvantages of early retirement. If you choose to receive benefits before you reach full retirement age, your benefits will be permanently reduced. However, you'll receive benefits for a longer period of time.

To help you decide when is the best time for you to retire, we offer a free booklet, *Social Security — Retirement Benefits* (Publication No. 05-10035), that provides specific information about retirement. You can calculate future retirement benefits on our website at [www.socialsecurity.gov](http://www.socialsecurity.gov) by using the *Social Security Benefit Calculators*.

There are other free publications that you may find helpful, including:

*Understanding The Benefits* (No. 05-10024) — a general explanation of all Social Security benefits;

*Your Retirement Benefit: How It Is Figured* (No. 05-10070) — an explanation of how you can calculate your benefit;

*Windfall Elimination Provision* (No. 05-10045) — how it affects your retirement or disability benefits;

*Government Pension Offset* (No. 05-10007) — an explanation of a law that affects spouse's or widow(er)'s benefits; and

*Identity Theft And Your Social Security Number* (No. 05-10064) — what to do if you're a victim of identity theft.

We also have other leaflets and fact sheets with information about specific topics such as military service, self-employment or foreign employment. You can request Social Security publications at [www.socialsecurity.gov](http://www.socialsecurity.gov) or by calling us at 1-800-772-1213.

**If you need more information**—Visit [www.socialsecurity.gov/mystatement](http://www.socialsecurity.gov/mystatement) on the Internet, contact any Social Security office, call 1-800-772-1213 or write to Social Security Administration, Office of Earnings Operations, P.O. Box 33026, Baltimore, MD 21290-3026. If you're deaf or hard of hearing, call TTY 1-800-325-0778. If you have questions about your personal information, you must provide your complete Social Security number. If your address is incorrect on this *Statement*, ask the Internal Revenue Service to send you a Form 8822. We don't keep your address if you're not receiving Social Security benefits.

Para solicitar una Declaración en español, llame al 1-800-772-1213

-72-





[www.socialsecurity.gov](http://www.socialsecurity.gov)

## Thinking Of Retiring? Consider Your Options

### What You Need To Consider

As you approach the age when you can receive Social Security retirement benefits, you have options to consider and decisions to make. Before making your retirement decision, we hope you will consider all the options.

There are important questions you need to ask yourself. At what age do you want to begin receiving benefits? Do you want to stop working and receive benefits? Do you want to work and receive benefits at the same time? Or do you want to work beyond your full retirement age and delay receiving benefits?

When you continue working beyond full retirement age, your benefit may increase because of your additional earnings. If you delay receiving

benefits, your benefit will increase because of the special credits you will receive for delaying your retirement. This increased benefit could be important to you later in your life. It also could increase the future benefit amounts your family and survivors could receive.

Each person's retirement situation is different. It depends on circumstances such as health, financial needs and obligations, family responsibilities, amount of income from work and other sources. It also may depend on the amount of your Social Security benefit.

We hope the following information will help you make your retirement decision.

### About The Options

**Retiring At Full Retirement Age**—To retire, you must have earned 40 credits. See the table below to determine your full retirement age.

<i>Year of Birth*</i>	<i>Full Retirement Age</i>
1937 or earlier	65
1938	65 and 2 months
1939	65 and 4 months
1940	65 and 6 months
1941	65 and 8 months
1942	65 and 10 months
1943-1954	66
1955	66 and 2 months
1956	66 and 4 months
1957	66 and 6 months
1958	66 and 8 months
1959	66 and 10 months
1960 or later	67

\*Refer to the previous year if you were born on January 1.

**Retiring Early**—If you've earned 40 credits, you can start receiving Social Security benefits at 62 or at any month between 62 and full retirement age. However, your benefits will be permanently reduced based on the number of months you receive benefits before you reach full retirement age. If you retire before your full retirement age of 65, your benefits will be reduced:

- 20 percent at age 62;
- 13 1/3 percent at age 63; or
- 6 2/3 percent at age 64.

If your full retirement age is 66, they will be reduced:

- 25 percent at age 62;
- 20 percent at age 63;
- 13 1/3 percent at age 64; or
- 6 2/3 percent at age 65.

**Receiving Retirement Benefits While You Work**—You can work while receiving monthly benefits. And it could mean a higher benefit that can be important to you later in your life and increase the future benefits your family and survivors could receive.

We'll review your record each year to see whether the additional earnings will increase your monthly benefit. If there's an increase, we'll send you a notice of your new benefit amount. Earnings in or after the month you reach full retirement age won't reduce your Social Security benefits. However, if you receive benefits before reaching your full retirement age, your benefit amount will be reduced.

- In the year you reach full retirement age, \$1 in benefits will be deducted for each \$3 you earn above the annual limit (\$34,440 in 2007) until the month you reach full retirement age. *After that, your benefits will not be reduced, no matter how much you earn.*
- In the years before you reach full retirement age, \$1 in benefits will be deducted for each \$2 you earn above the limit (\$12,960 in 2007).

If you lose benefits because of work, your benefit will be increased later to account for the months you didn't receive a benefit before reaching full retirement age.

**Delaying Retirement**—You may decide to continue working beyond your full retirement age without choosing to receive benefits. If so, your benefit will be increased by a certain percentage for each month you don't receive benefits between your full retirement age and age 70. This table shows the rate your benefits increase if you delay retiring.

<i>Year of Birth</i>	<i>Yearly Increase Rate</i>
<i>1937 - 1938</i>	<i>6.5%</i>
<i>1939 - 1940</i>	<i>7.0%</i>
<i>1941 - 1942</i>	<i>7.5%</i>
<i>1943 or later</i>	<i>8.0%</i>

**Applying For Social Security Retirement Benefits And Medicare**—It's best to contact Social Security three months before the month in which you want to file for retirement benefits to discuss the options that are available to you. In some cases, your choice of retirement month could mean additional benefits for you and your family.

Even if you don't plan to receive benefits because you'll continue working, you should sign up for Medicare three months before reaching age 65 regardless of when you reach full retirement age. Otherwise, your Medicare medical insurance (Part B) could be delayed and you could be charged a higher premium.

**How To Apply For Retirement Benefits**—You can apply online at [www.socialsecurity.gov/applyforbenefits](http://www.socialsecurity.gov/applyforbenefits) or by calling **1-800-772-1213** between 7 a.m. and 7 p.m., Monday through Friday. If you're deaf or hard of hearing, call our TTY number, **1-800-325-0778**, between 7 a.m. and 7 p.m., Monday through Friday, to file your claim. You also can apply at any Social Security office.

Be sure to have these items handy: your Social Security number, birth certificate, W-2 forms or self-employment tax return for last year, and your bank name and account number so your benefits can be deposited directly into your account.

In addition to the information listed above, you will need—

- Your military discharge papers if you had military service;
- Your spouse's birth certificate and Social Security number and your marriage certificate if he or she is applying for benefits; and
- Proof of U.S. citizenship or lawful immigration status if you were not born in the United States.

You will need to mail or deliver original documents or copies that have been certified by the issuing office to a Social Security office.

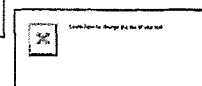
**Need More Information**—You also have options for getting information about Social Security and retirement. Visit the "Plan your retirement" section of our website to estimate your Social Security benefits, find answers to frequently asked questions about Social Security, learn about factors that could affect your benefits and much more. And you can get information about Social Security by visiting a local Social Security office or by calling **1-800-772-1213**.

You can print these publications from our website.

- *Retirement Benefits* (Publication No. 05-10035);
- *Your Retirement Benefit: How It Is Figured* (Publication No. 05-10070); and
- *How Work Affects Your Benefits* (Publication No. 05-10069).

This page uses javascript to display scrolling text. The text can be viewed on this page

Government Pension Offset provisions were changed by legislation in 2004.



Español  
Other  
Languages

www.socialsecurity.gov

Search  GO

Thursday, Mar 15, 2007 10:45:12 AM Last updated March 13, 2007 7:48 AM

New rules for getting a Social Security number and card

### What you can do online

- Apply for benefits
- Replace your lost, stolen or damaged Medicare card
- Request a Proof of Income letter
- Change address/phone number
- Find a Social Security office
- More online services...

### News

- Commissioner Astrue's statement on Social Security's FY 2007 budget
- Michael J. Astrue sworn in as Commissioner of Social Security
- Social Security

## Your Social Security records

Your number & card | Your Statement

### Retirement

- Plan your retirement | Calculate your benefits
- Qualify & apply | Already receiving benefits

### Medicare

- Medicare Prescription Drug Plan | Other Medicare information

### Disability & SSI

- Qualify & apply | Already receiving benefits
- Ticket to Work | Adults disabled before age 22
- More disability information | SSI for people 65 and older

### Widows, widowers & other survivors

- Report a death | Qualify & apply
- Already receiving benefits

### Get help with your situation

- Marriage, divorce, and name changes
- Birth of a child | Death in the family
- Disagree with our decision? | More situations...

## Frequently Asked Questions

-- Choose Topic -- GO

### Information for:

This page uses javascript to provide a drop list of additional groups. The list can be viewed on this page.

- The Press
- Congress
- Employers

-- Choose Other Group --

### Useful links

This page uses javascript to provide a drop list of additional resources. The list can be viewed on this page.

- Business Services Online
- Benefit Eligibility Screening Tool (BEST)
- Careers with us
- About Social Security's future
- Actuarial resources
- Our program rules
- Forms | Publications

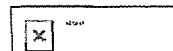
This page uses javascript to provide a drop list of additional resources. The list can be viewed on this page.

-- Other Useful Links --

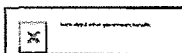
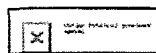
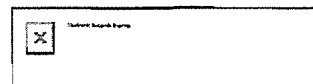
announces the 2007  
cost-of-living  
adjustment

Social Security delivers  
the most popular baby  
names for 2005

[More...](#)



Full retirement age is increasing



[Privacy Policy](#) | [Website Policies & Other Important Information](#) | [Site Map](#) | [Mission](#) | [FOIA](#) | [Regulations.gov](#) | [No Fear Act Data](#) | This is a U.S. Government computer system subject to Federal law

